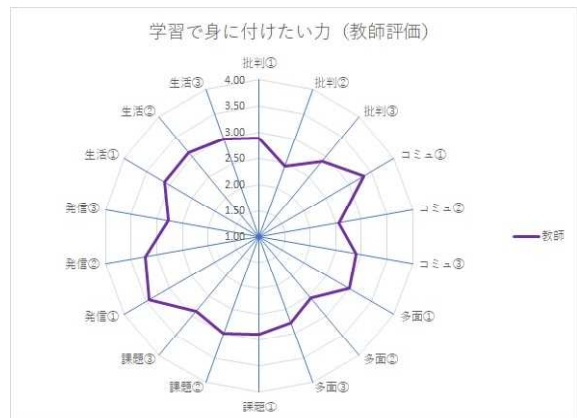
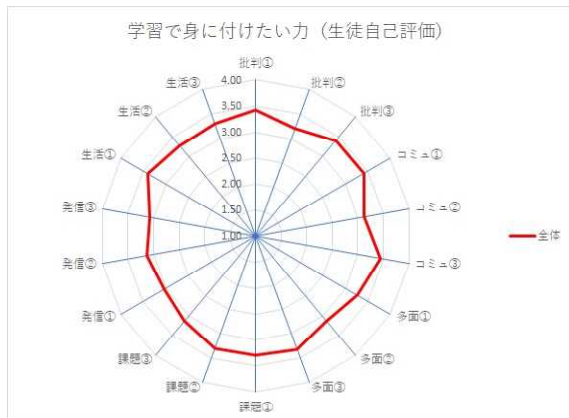


令和5年度
「E：教育」の評価
大曲南中学校 ESD「学習で身に付けたい力」についてのアンケートから

- 「批判的に考える力」(批判①～③)
 - ①生活や学習の場で「どうしてだろう。」「これでよいのか。」と疑問をもつ。
 - ②自分の考えを吟味し、再構築することができる。
 - ③他の人の意見を聞いたり、話し合い活動をしたりすることにより、他の人の考えと自分の考えの共通点や相違点がわかり、合意形成したり代替案を提案したりすることができる。
- 「コミュニケーションを行う力」(コミュ①～③)
 - ①話し合い活動などで、自分の意見を積極的に話したり、他の人の意見を聞いたりして、意見交換することは楽しい。
 - ②授業中や集会などで、声量、抑揚、話す速度、アイコンタクトなど相手を意識しながら話す。
 - ③周りの意見を聞き、自分の考えを見直し、相手に伝えるなどの双方向の話し合い活動をする。
- 「多面的・総合的に考える力」(多面①～③)
 - ①課題(物事)をメリット・デメリットの両面から見る。
 - ②課題(物事)を、1つの見方だけではなく様々な切り口から見て、自分の考えを総合的に創り出す。
 - ③課題(物事)に対して、自分の意見をはっきり言ったり、他の人の意見を聞いたりする話し合い活動を通して、様々な情報を基に、協力してよい考えを生み出す。
- 「課題を見つける力」(課題①～③)
 - ①日頃、ニュース等の報道や世界の出来事について興味をもったり、疑問をもったりすることがある。
 - ②日常生活の中で、「これはどうなんだろう?」「ここが不思議だ?」と思うことがある。
 - ③教科や総合的な学習の時間において、疑問に思ったり、不思議だと感じたりすることから、探究する課題を設定することができる。
- 「発信する力」(発信①～③)
 - ①学習したことや調べたことを、学級内や校内外の人たちに伝える。(授業、集会、学習発表会、南中祭、中学生サミット、他の発表会 など)
 - ②調べたことを新聞やレポート、プレゼンテーション、動画等に工夫して分かりやすくまとめ、発信する。
 - ③学んだことや考えたことを、伝える対象者を意識して、誰でも分かるように筋道を立てて発表する。
- 「生活に活用する力」(生活①～③)
 - ①学校で学んだことから、自分のとるべき行動を考え、実行している。
 - ②学校以外の家庭や地域で、学校で学んだこと意識して行動する。
 - ③今、自分が行っている取組は、SDGsの達成につながる。



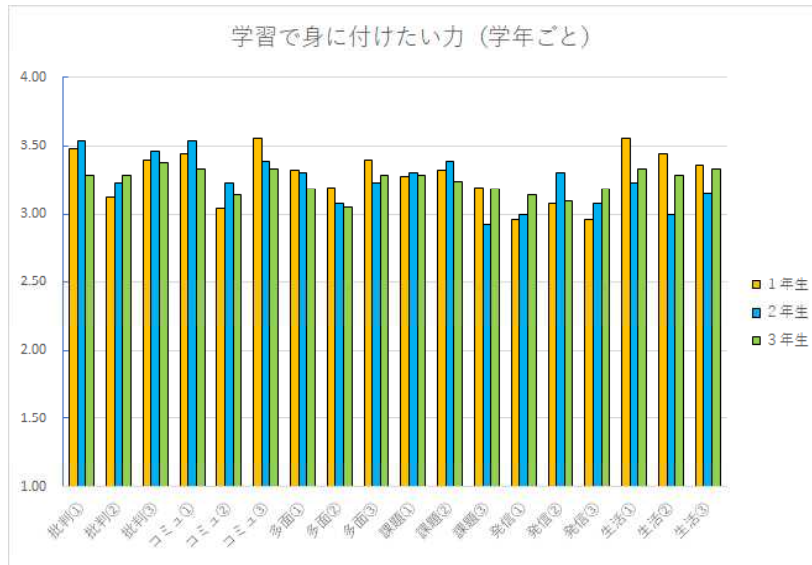
※資質・能力ごとの平均

生徒

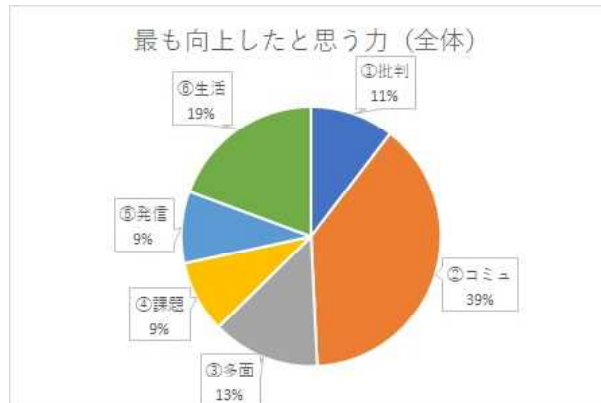
- ・批判的に考える力…3.34(3.35)
 - ・コミュニケーションを行う力…3.33(3.29)
 - ・多面的・総合的に考える力…3.24(3.33)
 - ・課題を見つける力…3.24(3.12)
 - ・発信する力…3.08(2.92)
 - ・生活に活用する力…3.33(3.00)
- ()は令和4年度

教師

- ・批判的に考える力…2.74
- ・コミュニケーションを行う力…2.93
- ・多面的・総合的に考える力…2.78
- ・課題を見つける力…2.93
- ・発信する力…3.15
- ・生活に活用する力…3.07



○この1年間の学習で、次の6つの力の内、あなた自身が最も向上したと思う力はなんですか。1つ選んでください。



考察

- ・ 昨年の課題は「発信する力」「生活に活かす力」であったが、今年度は改善されている。
- ・ 「批判的に考える力」は、生徒は高い評価であるが、教師の評価は低い。「批判的に考える」（自分の考えを再構築、代替案を提案する 等）のために、話し合い活動をいっそう充実させる必要があると思われる。
- ・ 「コミュニケーションを行う力」の②「授業中や集会などで、声量、抑揚、話す速度、アイコンタクトなど相手を意識しながら話す。」が各学年とも低い。特に1年生が低い。相手を意識した表現の仕方が課題であると思われる。しかし、「最も向上した力」で、「コミュニケーションを行う力」を挙げている生徒が多い。コミュニケーションの質を上げていく必要があると思われる。
- ・ 「多面的・総合的に考える力」は、学年が上がるほど低くなっている。学年が上がるにつれてまさに「多面的・総合的」に評価した結果であると思われる。3年生は、深く評価しているためであると思われる。
- ・ 「課題を見つける力」の「③教科や総合的な学習の時間において、疑問に思ったり、不思議だと感じたりすることから、探究する課題を設定することができる。」の2年生が特に低い。総合的な学習の時間だけでなく、教科等でも生徒が課題を設定し探究する授業を構築しなければならないと考える。
- ・ 「発信する力」は、生徒より教師の評価が高くなっている。教師は、生徒全員の振り返り等を見てこの評価を出したと思われるが、生徒は自分の振り返りしか見ていないので、評価が低くなったものと思われる。生徒の振り返り等を公の場に出す工夫が必要であると思われる。
- ・ 「生活に活用する力」は、生徒も教師も高い評価をしている。家庭の評価も見たい。